

合同広報誌

Vol. 2
2003. 3
第2号

福祉の輪 広げたい



寄稿 “もっと”出かけたたい まちへ！

産能大学 齊藤 進 教授

バリアとは障壁のこと。これには「物のバリア」、「心のバリア」、「制度のバリア」、「情報のバリア」などがあります。

一方バリアフリーは、こうした身の回りのさまざまな障壁を取り除くことです。最近では、各地でバリアフリーの取り組みが進んでおり、徐々に誰もが安心して安全に暮らせるまちづくりが進んでいます。

しかしいつでもどこへでも自由に出かけられるかと考えれば、実にさまざまなバリアに遭遇してしまいます。例えば車椅子で街に出かけると歩道の段差、路上

の違法駐車、商店の放置看板を初めとして交通機関のバリア（駅のエレベーターの未整備、スムーズに乗り降りできないノンステップバスなど）を知ります。そのため2度と出かけたくなくともってしまいます。

こうした現状を打破するには市民参加による福祉のまちづくりが必要です。市民が声を出し、地域社会を変えなければなりません。

私たちが目指すべき豊かな社会とは、“もっと”出かけたくなるまちでなければなりません。地域からの取り組みを進めましょう！

プロフィール
生年 1950年
出身 東京・巣鴨に生まれる
略歴 '73年 早稲田大学理工学部 建築学科卒業
'75年 同 大学院理工学研究科修士課程修了
現在 産能大学 経営学部 教授兼地域環境研究所長
専門 福祉のまちづくり、都市政策論、市民参加論
趣味 “まち”歩きとスケッチを描くこと
(街の風景画中心)

利用者の日記より

みどり園から車に乗って小田原まで行って、それから新幹線に乗って仙台に行きました。松島に泊まって、次の日に船に乗って塩がまを一周しました。そのあとバスに乗って仙台駅に着きました。東北新幹線の中でお弁当を食べました。
今まで行ったことがなかったので、とてもたのしかったです。
みどり園より

私たちのグループは日光の鬼怒川に旅行に行きました。日光江戸村を見学しました。その中では遠山の金さんのとり物のお芝居が、おもしろかったです。
夜の宴会では、うちゃんの音ちな歌がとてもおもしろかったです。ピングゲームもとてもおもしろく、くまのぬいぐるみが当たりました。今回の旅行は、雨が降ってしまいましたが、とても楽しかったです。
清川ホームより

第2号広報誌の内容はいかがでしたでしょうか。編集委員会では、まだまだ不慣れですが、皆様に3施設を身近に感じていただけるような紙面作りに心がけ、努力していきたいと思っています。

今後ともよろしくお祈いします。

3施設のご案内

知的障害者 援護施設
神奈川県伊勢原市粟窪605-1
Tel: 0463-93-4722 Fax: 0463-93-4723

知的障害者 援護施設
神奈川県愛甲郡清川村煤が谷3293
Tel: 046-288-2911 Fax: 046-288-2912

認可保育所
神奈川県伊勢原市高森1391-3
Tel: 0463-92-6226 Fax: 0463-92-6227

編集
後記

「福祉の輪広げたい」第2号

発行：2003年3月
発行責任者：岩崎尊之（理事長）
編集：「福祉の輪広げたい」 合同編集委員会
事務局：編集委員長 木村喜郎
伊勢原市粟窪650-1 みどり園内
0463-93-4722

第2号の内容

理事長交代のご挨拶 / 歳時記	2
3施設の外出の取り組み	3
① ちょっと冒険 ～多彩な外出～	4・5
② 楽しさいっぱい ～旅行・えんそく～	6
③ 身近なふれあい求め ～さんぽ～	7
寄稿 産能大学 齊藤 進 教授 / コラム・編集後記	8